

道路ネットワークの機能強化について

【担当省庁】国土交通省

〔新広域道路交通計画に基づく道路整備〕

- 学研相楽東部道路及び京都中部阪神連絡道路は、京都府の物流ネットワークにおいて重要な路線であることから、早期に重要物流道路に追加指定するとともに、高規格道路及び一般広域道路の機能強化及び重点整備のため、必要な予算を確保いただきたい。
- 堀川通（国道1号）の交通円滑化等に向けた新たなバイパストンネルの可能性等の調査を進め、早期の計画策定をお願いしたい。
- 京都都市圏の交通課題（亀岡方面や大津方面）について、交通集中の緩和や災害時のリダンダンシー確保のため、具体化に向けたルート検討等の調査を進めていただきたい。

【現状・課題等】

- 多核連携型の国づくりや安定した物流の確保を可能とする速達性やアクセス性を確保するため、国土をフル稼働させる道路ネットワークの機能強化が必要
- 学研相楽東部道路（国道163号）、京都中部阪神連絡道路（国道423号）は、京都府の新広域道路交通ビジョンにおいて、京都府の将来に必要な基幹ネットワークに位置づけられた一般広域道路であり、早期に重要物流道路の追加指定が必要
- 堀川通（国道1号）の慢性的な渋滞に対して、効果を検証したうえで、引き続きバイパス整備等の機能強化の検討が必要
- 亀岡方面、大津方面ともに、過去に高速道路と一般道の同時通行止めが発生しており、特に、国道9号（京都市～亀岡市）においては、平成30年7月豪雨時に京都縦貫自動車道及び国道9号の通行止めに加え、JR山陰本線の運転見合わせもあり、往来が不可能となった。また、国道1号（京都市～大津市）においては、令和3年8月の大雨による土砂流出により6日間通行止めが発生し、名神高速道路（京都東IC～大津IC）が無料代替路として機能したものの、交通流に多大な影響を与えた。
- 亀岡方面、大津方面ともに市街地において慢性的な渋滞が発生している。

京 都 府 の担当課	建設交通部 道路計画課 (075-414-5246)
---------------	----------------------------

【国の事業等】

■概算要求〔国土交通省〕

- ▶ 直轄事業 改築その他 12,702 億円（令和4年度予算 10,644 億円）
- ▶ 補助事業 ICアクセス等 3,033 億円（令和4年度予算 2,106 億円）

■京都府域新広域道路交通計画

- ▶ 平成30年11月に設置した京都府将来道路ネットワーク検討委員会の議論等を踏まえ、京都府の将来に必要な広域道路ネットワーク、中長期的な道路整備の方向性等を示す「京都のみち 2040」を策定（令和元年12月）
- ▶ 地域の将来像を踏まえた広域的な道路交通の今後の方向性を定める「京都府域新広域道路交通ビジョン・計画」を「京都のみち 2040」を基に策定（令和3年3月）

